

CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 同志社中学校・高等学校 南体育館		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアルCASBEE-京都-建築(新築)2018年 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)				
スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境								3.1
1 音環境				3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40			
1.2 遮音				3.0	0.40			
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0		
2 界壁遮音性能				3.0		3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0		3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0		3.0		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0		
2 温熱環境				2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50			
1 室温				3.0	0.38			
2 外皮性能				3.0	0.25			
3 ソーン別制御性				3.0	0.38			
2.2 湿度制御				1.0	0.20			
2.3 空調方式				3.0	0.30			
3 光・視環境				4.0	0.25			4.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30			
1 昼光率				3.0	1.00	3.0		
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度				3.0	0.20	3.0		
3.4 照明制御				5.0	0.50	5.0		
				アリーナの照明をタブレット端末で調光可能にしている。				
4 空気質環境				3.0	0.25			3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50			
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0		
4.2 換気				2.3	0.30			
1 換気量				1.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0		
4.3 運用管理				4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50			
2 喫煙の制御				5.0	0.50			
				同志社中高にて校内禁煙の徹底を行っている。				
Q2 サービス性能					0.30			2.7
1 機能性				2.5	0.40			2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40			
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画				3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30			
1 広さ感・景観 (天井高)								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画				1.0	1.00			
1.3 維持管理				3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50			
				汚れにくい材料を選定する。				
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30			2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			

2.4 信頼性					2.2	0.20			
1	空調・換気設備				3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備				2.0	0.20			
3	電気設備				3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法				1.0	0.20			
5	通信・情報設備				2.0	0.20			
3 対応性・更新性					3.0	0.30			3.0
3.1 空間のゆとり					3.0	0.30			
1	階高のゆとり				3.0	0.30			
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		3.0	1.00			
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30			
3.3 設備の更新性					3.0	0.40			
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30			3.2
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加算) D(独自基準)	京都市の高さ許可、風致許可を受けている。	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●とも 自然	A'(全国版準用)		3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性									3.1
LR1 エネルギー					-	0.40			3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制				煉瓦積み外壁を採用している。[BPI _m]=0.62	5.0	0.20			5.0
2 自然エネルギー利用		●自然	A(全国版準用)	太陽光発電システムを採用している。	4.0	0.10			4.0
3 設備システムの高効率化		●自然	C(独自加算)	[BEI][BEI _m] = 0.84	2.8	0.50			2.8
4 効率的運用					3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00			
4.1	モニタリング				3.0	0.50			
4.2	運用管理体制				3.0	0.50			
集合住宅の評価									
4.1	モニタリング				3.0	-			
4.2	運用管理体制								
LR2 資源・マテリアル					-	0.30			2.8
1 水資源保護					3.4	0.20			3.4
1.1 節水				節水コマ、自動水栓、節水便器、人感センサー小便器を採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減					2.6	0.60			2.6
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)		1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70			
1	消火剤				-	-			
2	発泡剤(断熱材等)				-	-			
3	冷媒				3.0	1.00			
LR3 敷地外環境					-	0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮					3.5	0.33			3.5
2 地域環境への配慮					2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.33			
2	汚水処理負荷抑制				-	-			
3	交通負荷抑制				3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33			
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40			
1	騒音				3.0	0.33			
2	振動				3.0	0.33			
3	悪臭				3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制					3.0	0.40			
1	風害の抑制				3.0	0.70			
2	砂塵の抑制				-	-			
3	日照障害の抑制				3.0	0.30			
3.3 光害の抑制					3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70			
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●とも	B(推奨内容)		3.0	0.30			

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素量削減に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる